

受付

確認	技術管理者	決裁	課長 課長代理 係長 主任 担当	工事種別	新設 改造 増設 撤去 修繕 ()	用途	01 一般用	水栓番号	
							02 浴場用	許可番号	
							03 臨時用	許可年月日	年 月 日

給水装置工事申込書

年 月 日

交野市水道事業管理者様

交野市水道事業給水条例及び同施行規程に基づき給水装置工事を申し込みます。

◎工事場所 交野市

◎申込者 住所
◎交野市指定給水装置工事事業者 住所

氏名 氏名

◎工事場所土地所有者 ◎主任技術者 免状交付番号

住所 氏名 第 号

氏名 連絡先(TEL)

委任状

年 月 日

交野市水道事業管理者様

私は、本件の給水装置工事に係る一切の権限を交野市指定給水装置工事事業者に委任いたします。

申込者 住所 (自署)

氏名 (※)自署しない場合は、記名押印して下さい

調定確認欄	納付確認欄
既設: φ ()mm 新設: φ ()mm 増径: φ ()mmからφ ()mm	給水金 ^① 負担金 円
①×0.10	消費税等 ^② 円
既設: φ ()mm 新設: φ ()mm 増径: φ ()mmからφ ()mm	分担金 ^③ 円
③×0.10	消費税等 ^④ 円
内径: φ ()mm以下 内径20mm以下で2栓までの増設	設計検査手数料 ^⑤ 円
内径: φ ()mm以下 内径20mm以下で2栓までの増設	工事検査手数料 ^⑥ 円
メーター口径 φ13mm・φ20mm・φ ()mm	前受金 ^⑦ (消費税等込み) 円
①+②+③+④+⑤+⑥+⑦	合計 円

付近見取り図

上記金額を納付されたことを証明する。

領収

道路復旧

舗装道路掘削後、占用期間内に本復旧工事をいたします。主任技術者氏名

臨時用給水期限

年 月 日までに竣工・撤去をいたします。

備考	建築	第 号
	確認	年 月 日

申請 図面	配水管	管種	口径	給水管	止水栓までの口径	量水器口径	立面図
			mm			mm	
給水装置 工事設計書	平面図						
交野市 水道局							

竣 工 図 面	配水管	管種	口径	給水管	止水栓までの口径	量水器口径	
			mm			mm	
給 水 装 置 工 事 設 計 書	平面図						立面図
交 野 市 水 道 局							

給水装置工事自主検査報告書

年 月 日

交野市水道事業管理者 様

交野市指定給水装置工事事業者

住所 _____

氏名 _____

給水装置工事主任技術者

氏名 _____

免状番号 _____号

水道法第25条の4第3項の規定により、下記の給水装置工事について、主任技術者の責任において自主検査を実施したので次のとおり報告します。

自主検査日	年 月 日	工事種別	新設・改造・増設・撤去・修繕	水栓番号	
工事場所					
工事申込者					

検査種別及び検査項目	検査の内容	チェック			
屋外検査	水道メーター	<ul style="list-style-type: none"> 水道メーターが逆付け、偏りがなく水平に取付けられている。 検針、取り替えに支障がないこと。 			
	直結伸縮止水栓	<ul style="list-style-type: none"> 止水栓の操作に支障のないこと。 止水栓は逆付け及び傾きがないこと。 			
	埋設深さ	<ul style="list-style-type: none"> 所定の深さが確保されていること。 			
	管延長	<ul style="list-style-type: none"> 竣工図面と整合すること。 			
	鉄蓋・ボックス	<ul style="list-style-type: none"> 傾きがなく、設置基準に適合すること。 			
	止水栓	<ul style="list-style-type: none"> スピンドルの位置がボックスの中心にあること。 			
配管	配管	<ul style="list-style-type: none"> 延長、給水用具等の位置が竣工図面と整合すること。 配水管の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプに直接連結されていないこと。 配管の口径、経路、構造等が適切であること。 水の汚染、破壊、浸食、凍結等を防止するための適切な処置がなされていること。 逆流防止のための給水用具の設置、吐水口空間の確保等がなされていること。 クロスコネクションがなされていないこと。 			
		接合	<ul style="list-style-type: none"> 適切な接合が行われていること。 		
		管種	<ul style="list-style-type: none"> 性能基準適合品を使用していること。 		
		給水用具	給水用具	<ul style="list-style-type: none"> 性能基準適合品を使用していること。 	
			接続	<ul style="list-style-type: none"> 適切な接合が行われていること。 	
受水槽	吐水口空間	<ul style="list-style-type: none"> 吐水口と越流面等との位置関係の確認を行うこと。 			
	構造	<ul style="list-style-type: none"> 給水装置工事施工基準の受水槽の構造に適合していること。 			
機能検査	<ul style="list-style-type: none"> 通水後、各給水用具からそれぞれ放流し、メーター経由の確認及び給水用具の吐水口、動作状況などについて確認すること。 				
耐圧試験	<ul style="list-style-type: none"> 1.75MPaによる水圧試験を1分間以上行い、漏水及び抜けなどないことを確認すること。 				
水質の確認	残留塩素(遊離)	<ul style="list-style-type: none"> 0.1mg/l以上あること。 			
	臭気	<ul style="list-style-type: none"> 観察により異常でないこと。 			
	味	<ul style="list-style-type: none"> 異常でないこと。 			
	色	<ul style="list-style-type: none"> 観察により異常でないこと。 			
	濁り	<ul style="list-style-type: none"> 観察により異常でないこと。 			